

医療安全だより

発行2019年6月
VoL.32

整理整頓で安全な環境づくり～5S活動～

カラっとした空気が気持ちいい日が続いているこの時期、次に訪れるジトジトとした梅雨の前に身近なところを整理整頓したくなりませんか？

最近の主婦向けの雑誌やテレビでも収納整理や断捨離について多く取り上げられています。

医療安全と整理整頓、5S活動は一見して関係ないと思われそうですが実は関係深いのです。

当病院でも整理整頓、5S活動を実践し安全な職場環境を目指す活動を行っています。

今回はその一部についてお伝えいたします。

5Sってなに？

整理	Seiri
整頓	Seitonn
清掃	Sisou
清潔	Siketsu
しつけ	Shitsuke

まずは**5S**ってなに？という

疑問から答えていきたいと思います。

左の表に書かれている整理・整頓・清掃・清潔

しつけの頭文字 S から5S と呼ばれています。

整理整頓なんて小さいころから親にしつけられてきたことを今更…と思われることでしょうか。家の整理整頓と違い職場の、しかも医療環境における整理整頓はなかなか難しいことなのです。

< 自宅の場合 >

- ・ **自分の判断**で要るモノ・要らないモノを区別して (**整理**)、
- ・ 要るものは使いやすい場所に置く (**整頓**)
- ・ 要るモノはきれいに保ち (**清掃**)
- ・ 環境を清潔に保つ (**清潔**)
- ・ 決められたルールや手順を守る (**しつけ**)

となって自宅はきれいな環境に整えられます

一方病院の場合は

<病院の場合>

- ・ **職員全員**が要るモノと要らないものを分ける
- ・ 不要品（要らないモノ）を片づけて**安全なスペースを確保する（整理）**
- ・ モノの指定席を決めて、**取り間違いを防ぐ（整頓）**
- ・ そして探す手間を省き**業務の効率化**を図る
- ・ 細部まで清掃して器材・機器などを**良い状態で使用できるようにする（清掃）**
- ・ 整理・整頓・清潔を行い**感染防止に努める（清潔）**
- ・ 決められたことを守り、行動することで**働き易い環境**つくりになる（しつけ）

ここで**職員全員**がというところがポイントになります。

- ・ 一般的に職場だと不要品を処分する決定権がない。
- ・ 自分のモノ・場所ではない。
- ・ 壊れていないからいつか使えるだろう。
- ・ 自分がやらなくても誰かがやるだろう。

などの思いから不要なモノが増えてしまう傾向があります。

反対に職員全員が好き勝手にモノの処分をしてしまうと

確かにきれいさっぱり、すっきりとした環境になるかもしれませんが、

中には高価なもの、使用頻度は少なくとも必要なモノ

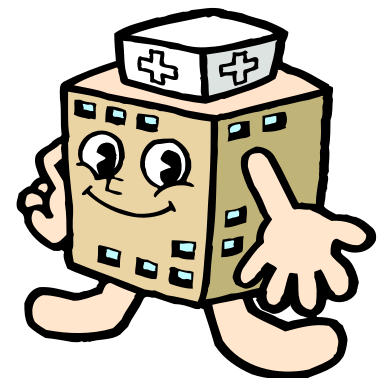
などが含まれているかもしれません。

職員全員で5Sの視点を持ち、モノを整理してモノの処分については処分する決定権を持つ管理者と相談することが必要です。

モノが増える原因

足りなくなると患者様

がきっとこまるなあ



一例として

5Sを行う以前の棚の状態



一見整理されている棚のようですが、使う頻度や使うモノのグループ分けがされてない状況です。同じグループでまとめるとわかりやすくなります。

黄色枠: 泌尿器での使用器材
赤色枠: 呼吸器での使用器材

5Sを行った後の棚の状態



使う頻度とグループ分けをして移動距離を少なくして物を取り出せるように配置しました。散在したものを集約して並べなおす(グルーピング)してわかりやすくしています。

黄色枠: 泌尿器での使用器材
赤色枠: 呼吸器での使用器材



5S パトロール

当院ではこの5S活動が実践されているかを年に3回
看護部5Sチームがパトロールを行っております。

パトロールは事前に日程を伝え、
各部署30分程度の時間で行っています。

5S活動が継続されるように必要以上にモノをため込んで
いないか、処分するものであふれていないか、院内での
ルールがきちんと守られているかをパトロールしています。
どんな様子なのか見てみましょう。



NG な状態



ある病棟の様子。
倉庫内に乱雑におかれた医療
機器。医療機器がどこにあるの
か分かり難く、また雑然と置か
れているので取り出し難くな
っています。

OK な状態



医療機器などの
戻す場所を明示
してあるので
もとに
戻しやすい



整理整頓され
見やすく
使いやすい棚○

5S活動にとりくむことで…

病院の組織で5S活動に取り組むことで得られる効果として

- 1、モノを探すムダ時間の削減
- 2、職員のヒューマンエラーの削減
- 3、患者の事故防止
- 4、スペースの有効利用
- 5、患者・お客様の満足度向上

が、あるといわれております。5Sを行うことで業務の改善や（時間や空間の）無駄を排除することができます。病院は緊急事態が多く発生する場所でもあります。緊急事態にも適切に的確に対応できるように環境が整えられていることは重要なことでもあります。物の置く場所1つ取ってもわかりやすいこと、取り出しやすいことは薬や器具の取り間違い防止になります。これらの取り組みを行うことにより安全な環境が作られる事に繋がります。そして管理者のマネジメント力の向上を図ることができるといわれています。病院の環境をよりよくするために今後も取り組み続けていきたいと思っております。

